

20210212 令和元年度参与会挨拶

みなさん、こんにちは。校長の井瀬です。

本日は年度末のお忙しい折、また、コロナへの対応でお忙しい中、本校の参与会にご参加頂きましてありがとうございます。

日頃、いろいろな面で、本校の運営にご支援頂いておりまして、この場を借りてお礼申し上げます。

毎年、参与会では本校の「管理運営」および「教育研究活動の状況」について審議頂いています。今回で15回目の参与会を迎えることができました。

昨年は「高知高専の高度化について」ということで、本科と専攻科の教育について、ご審議いただきました。

今年度は、年度当初から、学生が学校に来ることができない時期があり、遠隔授業も経験しました。学生にとっても教員にとっても厳しい状況の中での学習を経験しました。

この経験を、今も、これからも活かしていこうと取り組んでいます。

こうした経験を踏まえて、高専はどんな人材を社会に送り出していくのかを、改めて問い直そうと考えました。

そこで、今年は「高知高専の人材育成について」ということで、人材育成の「目標」と「取り組み」を取り上げました。

「目標」として、『高等教育機関として、高専は大学では輩出できない人材を育成する』とし、「取り組み」では、『現在の取り組み』、『もっと力を入れたい取り組み』、『これからの取り組み』を挙げました。

具体的には、

現在の取り組み

1. 「理論と技術の基礎を使えるところまで身につけた人材育成」

頭も手も動く人材の育成。

2. 「専門の異なる学生がグループを組み、チームとして社会の課題を解決する社会実装教育」

身につけたことは使ってみる。チーム内及び地域コミュニティの方々と議論する中で、考える力と話す力・聞く力を鍛える。また、異なる専門の異なる考えへの気づき。

3. 「専門を2つ以上身につけられるコース教育」

学科の垣根を取り払った教育(社会実装教育や卒研、特別研究で複数のコースにまたがる課題へ取り組む学生を育成)

4. 「サイバーセキュリティ人材育成事業(K-SEC)」

どの専門の高専生もセキュリティ・スキルを必須の項目として身につけた“+(プラス)セキュリティ人材”として卒業させる取り組みで、今年度で5年目。

本校は事業の中核拠点校として全高専を先導中。

情報社会の次に来る超スマート社会 Society5.0 はサイバー空間とフィジカル空間を高度に融合した社会を目指している。情報を高度に扱う社会になるので、我々一人一人がセキュリティの知識と技術なしにはすまされない時代になる。本校は、本事業を通して全高専の高度化に貢献するとともに、今後も本校の特長としていきたい。

もっと力を入れたい取り組み

5. 「ワクワクする学校をつくるために」

全国規模のコンテストを利用して、世の中にないものをつくって世界をびっくりさせる喜びを体験する教育。

これからの取り組み

6. 「15歳から研究への参加」

高専ならではの学生の好奇心の育成と能力開発。

こういう取り組みを行っています、また、行おうとしています。

これら、本校の人材育成に対して、審議お願いいたします。また、これらの取り組み以外にも、ご提言をいただければと思います。